

皆様おはようございます。運輸総合研究所理事長の佐藤です。

本日も、ご多用の中、大変多くの皆様にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。セミナーの開会に当たり一言申し上げます。

最初に、セミナー開催に至る経緯についてであります。今を去ること3年前、2019年11月に、私ども運輸総合研究所と山縣理事長率いるみなと総合研究財団は、連携覚書を締結いたしました。その具体的な取組みの第1弾として、「クルーズ振興」をテーマとするセミナーを2020年春に共同開催するべく準備を進めていたところ、全世界的なコロナ禍に見舞われてしまいました。そして、3年の歳月を経て、本日、オンライン配信を併用するというコロナ前にはなかった形で、かつ、コロナ禍における経験と教訓を踏まえてテーマを「安全・安心なクルーズの実現」という風に見直し、セミナーの共同開催にこぎ着けたわけでありませう。

次に、本日のセミナーのご登壇者を紹介いたします。

まず、国交省の交通政策審議会海事分科会長で、運輸総研の評議員も務めていただいている早稲田大学法学学術院の河野教授に、「安全・安心な国際クルーズの再開に向けて」と題して基調講演をしていただきます。

続いて、今月15日からにっぽん丸による国際クルーズを再開した商船三井客船株式会社の川野取締役「クルーズ事業者における感染症対策の取組み」と

題して、また、ダイヤモンド・プリンセス号事案を経験した横浜市港湾局の高橋旅客船事業推進課長に「安全・安心なクルーズ港の実現のための取組み」と題して、それぞれ講演をしていただきます。

その後、国交省から港湾局の西尾産業港湾課長、海事局の宮沢外航課長、観光庁の鈴木新市場開発室長にも参加していただき、河野教授をコーディネーターとして、パネルディスカッションと質疑応答を行うこととしております。視聴者の皆様には、ご意見やご質問をどしどしお寄せいただければと思います。

最後に、日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げるとともに、本日のセミナーが、ご参加いただきました多くの皆様方にとりまして真に有益なものとなることを期待いたしまして、誠に簡単ではありますが、私の冒頭の挨拶といたします。

それでは、登壇者の皆様、視聴者の皆様、どうぞよろしく願いいたします。